

URAYASU STYLE

Vol. **40**
2020.04

2020年度
浦安の教育



明海中学校でのランチミーティング

市長、教育長と明海中学校の3年生が一緒に給食を食べながら、浦安市について語り合いました。生徒から「理想の浦安市とはどのような姿ですか」という質問に、市長が「市民の誰もが自分のやりたいことを実現できるまち」、教育長が「一人一人の夢が実現できる素地づくりが義務教育」と答える場面がありました。

今年度は、市内の全ての中学校で実施する予定です。



3月は、新型コロナウイルス対策による休校の措置に、ご理解、ご協力いただきありがとうございます。また、多くの方に子どもたちの門出を祝っていただきたいところでしたが、ウイルス対策を講じながらの卒業（園）式となりました。子どもたちには、園、小学校、中学校を卒業（園）するという節目を味わってほしいという中での苦渋の判断となりました。まだまだ、予断を許さない状況ですが、新年度のスタートにあたり、一言述べさせていただきたいと思います。

いよいよ2020年が明け、令和2年度がスタートしました。この2020年、令和2年度という年（年度）はいろいろな意味で記憶に残る、心に刻み込まれる年となることなのでしょう。時代は、まさに先行き不透明で予測困難な時代に突入しました。そのような時代に生きる子どもたちや市民の皆さんが、「輝き躍動するまち・浦安」を目指して新総合計画が策定され、スタートします。

教育の分野では、そのまちづくりを担う「ひと」づくりに焦点をあて、市長と教育委員会で構成される総合教育会議で「学び 育み 認め合い『未来を創造する』人づくり」を基本理念に掲げました。そして、その基本理念に基づき今後10年間を見据えた浦安市教育振興基本計画を策定し、学校教育、生涯学習、生涯スポーツのそれぞれの分野において、基本目標、推進計画を策定しました。

この第40号では、教育振興基本計画や分野ごとの基本目標、推進のための考え方を示しています。また、生涯学習の拠点である公民館が目指す独自性（特色）や、スポーツ協会の会長、理事長のスポーツに対するの熱い思いも語られています。

浦安市教育振興基本計画の実施にあたっては、子どもたちをはじめ市民一人一人の英知を結集しながら、未来を創造し、推進していきたいと思います。

浦安市教育委員会 教育長 鈴木忠吉

浦安市教育振興基本計画

浦安市教育振興基本計画は、令和2年度（2020年度）を始期とする「浦安市総合計画」と整合を図りながら、学校教育分野と生涯学習分野、生涯スポーツ分野を包含した計画として、今後10年間を見据えた浦安市における教育のあり方や基本理念及び施策の方向性等を示した計画です。

基本理念 学び 育み 認め合い 『未来を創造する』人づくり

学び 研鑽したり楽しみながら活動したりする **育み** 互いに支え、高め合い、成長し合う **認め合い** 自己肯定感を高め、個性を理解し、尊重し合う **未来を創造する** 学び培った成果を夢や理想の実現に向けて行動する

浦安市学校教育推進計画 基本目標 自ら学び 自他を尊重する心と新しい時代を切り拓き しなやかに生きる力を育みます

基本目標を基に、目指すべき4つの子ども像を定めました。2020年度、子ども像の実現に向けて様々な取り組みを行ってまいります。

主体的な学び

わかる・できる授業を目指して

担任はもちろん、少人数教育推進教員、理科教育推進教員など教員同士が連携を取りながら、わかる授業・できる授業を目指します。

多様な教育的ニーズに応じた支援の充実を目指して



子どもたち一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援の充実を目指します。

◀作品を仕上げるために適切な助言や支援を行う

いじめは絶対に許さない！

いじめ110番やいじめメール相談を行う等、いじめの早期発見、早期対応を図ります。



▲SNSルールを広めるためにスローガンを考える（SNSルール中学生サミット）

自他を尊重する心

考え、議論する道徳科の授業

道徳科を要とし、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」ことができる子どもたちを育てていきます。



▶2年生の道徳科の授業

子どもたちの体力向上に向けて

体育科の授業を中心に、子どもたちの体力の向上を図ります。



▲自分の跳び方をタブレットで確認する

健やかな体

自分の命を守る！

自分のまちを実際に歩くなど、災害への備えや身近な危険について考える防災教育を推進します。



▲地域を歩き、危ないところを地図に記入する

地域とともに歩む学校づくり



▲学区の幼稚園、保育園、小・中学校、PTA、地域の方が一緒に行う境川クリーン活動

異学年での交流活動

異学年の子どもたちとの交流を通して、思いやりや助け合いの心を養います。



◀学区の園との交流会で、園児と一緒に遊ぶ

豊かなかかわり

学校支援コーディネーターを中心に、学校と地域との協働体制づくりを推進します。



浦安市生涯学習推進計画 基本目標 自ら学び ともに高めあい 地域に生きる生涯学習によるまちづくりを推進します

基本目標を実現していくために、4つの基本施策を設定し、施策の方向性を示しています。

学 ぶ人づくり

—— 市民一人ひとりの学習機会の充実

青少年の体験・交流機会の充実

● 青少年が様々な経験や交流を通して社会性を身に付ける機会を充実します。



▲青少年の体験・交流活動。親子でANAの工場を見学する

家庭教育の支援

● 育児に関する講座や親や保護者同士が情報交換できる機会を提供します。



▶高洲公民館で開催された赤ちゃん育児応援講座

つ ながる場づくり

—— 市民が学び合い交流する場の充実

(仮称) 子ども図書館の整備

● 子どもの読書活動の拠点となる「(仮称)子ども図書館」を整備します。



▲(仮称)子ども図書館基本設計ワークショップで自分たちのアイデアを発表する

サークル・団体の活動支援

● 公民館などのサークル・団体の活動支援や団体同士が交流できる機会を充実します。



▶当代島公民館の文化祭

生 かせる地域づくり

—— 生涯学習による豊かな地域づくりの推進

学んだ成果を生かせる機会の充実

● 市民が学んだ成果を指導者やボランティアとして生かせる環境づくりを進めます。



▲生徒一人一人の実態に応じた学習支援を行う青少年自立支援未来塾

地域で子どもを育てる環境の充実

● 学校や保護者、地域の住民と連携・協力して、地域全体で子どもを育てる環境を整えます。



▲車いす体験、高齢者疑似体験等地域の方の協力のもと、様々な体験活動を行う美浜中学校のはまかせ祭

ま ちの魅力づくり

—— ふるさと浦安の文化芸術の振興

浦安の歴史・伝統文化の保護・継承

● 浦安の歴史や伝統文化に触れられる機会を提供し、まちへの愛着を育みます。



▲市内の全ての小学4年生が行う郷土博物館の「のりすき体験」

青少年の文化芸術活動の機会の充実

● 青少年が文化芸術を鑑賞・体験・創造・発表できる機会を充実します。



▶発表に向けて練習を重ねる(管弦楽フェスティバル)

浦安市生涯スポーツ推進計画

基本
目標

心も身体も元気で「生涯スポーツ健康都市」の実現を目指します

するスポーツ

多様なニーズに応じたスポーツ機会の提供

多様なスポーツ機会の充実を目指して

- 市民誰もが健康づくりや競技力向上など、それぞれの目的のために、スポーツに取り組める機会の充実を図ります。



▲車いすバスケットボールの体験会

みる・ささえるスポーツ

スポーツへの関心を喚起する多様な取り組み

トップスポーツチームとのふれあい

- 本市を拠点としているスポーツチームを活用し、市民がスポーツに触れられる機会の充実を図ります。



▲プリオベッカ浦安によるサッカー教室

スポーツを行う場づくり

誰もがスポーツを楽しめる環境の充実

運動公園スポーツ施設等の再整備

- 市民が気軽に利用しやすいよう、運動公園スポーツ施設を含めた市内のスポーツ施設の再整備を検討します。

スポーツによる地域づくり

地域づくりにつながるスポーツの推進

総合型地域スポーツクラブの育成支援

- 子どもから高齢者まで地域でスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブの育成支援を図ります。

浦安市の 公民館

浦安市には、市民の皆さんの学習意欲にこたえるため、学習・文化活動やレクリエーション・スポーツ活動などを行う7つの公民館があります。今年度、それぞれの公民館にキャッチフレーズと公民館カラーが決まりました。公民館では、いろいろな教室や講座、学級を行っています。公民館情報紙「ルネサンス」を見たり、各公民館に問い合わせを試みたりしてください。きっと興味のある教室や講座が見つかると思います。

高洲公民館
学び・出会い・未来へつなぐ 高洲公民館

中央公民館
「古き」と「新しき」の共存 中央公民館

堀江公民館
広げよう人の和・ワイワイ地域の輪 堀江公民館

富岡公民館
ともに 未来を おいかけよう 富岡公民館

美浜公民館
みどりゆたかに はなやかに まなびあおうよ 美浜公民館

当代島公民館
ともに歩き 地域がつながる 当代島

日の出公民館
ひかり輝くお日様がのぼる場所 出会いと憩いの日の出公民館



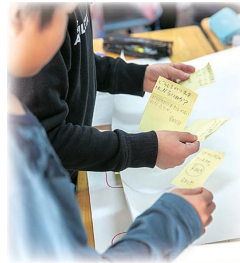
▲高洲中学校のクライミング体験（高洲公民館）



▲公民館の敷地内の畑で、様々な野菜を栽培し、収穫を楽しむ（富岡公民館）

言語能力の育成

基礎的・基本的な「知識及び技能」を習得し、これらを活用して課題を解決するために必要な「思考力、判断力、表現力等」を育むとともに、「主体的に学習に取り組む態度」を養うために言語活動の充実が求められています。国語科を中心に他の教科と連携して、子どもたちの言語能力を育んでいきます。



▲自分の考えを書き、友達の考えと比較する



▲一人一人の意見を出し合い、社会科でこれから調べたいことを決める

情報活用能力の育成～プログラミング教育～

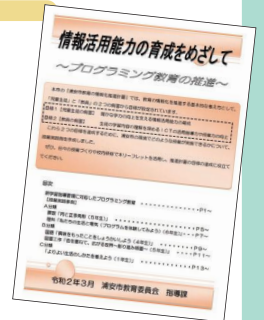
「必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力」とされる情報活用能力が重要視されています。また、プログラミング教育では、コンピュータがプログラムによって動き、社会で活用されていることを体験しながら論理的思考力を身に付けていきます。



▲自分の出した指示でコンピュータ上のキャラクターを動かす

本市では情報活用能力の育成に取り組むため、指導事例を掲載したリーフレットを作成しました(右写真)。

これまでに各小中学校で行ったICTを活用した事例を全小中学校で共有できるよう整備しています。ICTを活用することで、子どもたちの情報活用能力を育んでいきます。



外国語教育

5・6年生は教科として「外国語科」が始まります。「聞くこと」「話すこと」に加えて、「読むこと」「書くこと」の力を育みます。



▲夏休みの思い出について英語で書き表す

「読むこと」では、音声で慣れ親しんだ語句や表現を、アルファベットを見て発音できるようにすることを目指します。

「書くこと」では、アルファベットで、大文字と小文字が書けるようにすること、また、音声で十分に慣れ親しんだ単語や文について「なぞり書き・写し書き」ができるようにすることを目指します。



▲学級担任とA・L・Tとで連携を取りながら授業を行う

キャリア教育

キャリア教育とは、子どもたちの社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる能力や態度を育むことがねらいです。そして、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していけるようにすることを目指します。

今年度から、「キャリア・パスポート」というポートフォリオ的な教材を使い、自分たちの学習活動等の学びのプロセスを記述し、振り返るために活用していきます。これは、小学校入学から高校卒業までの記録を学年・校種を越えて引き継いでいくものとなります。



▲小学校で「仕事」について、様々な職業の方から仕事内容ややりがいについて話を聞く



▲「キャリア・パスポート」を活用し、小学校で考えたことを振り返りながら、中学校で「仕事」についての話を聞く



浦安の子どもたちのために様々な場面で活躍してくださっている方たちを紹介します。



浦安市スポーツ協会



浦安市スポーツ協会の方にインタビューしてみました。

どのような活動をしていますか？

福元 春季・秋季の市民大会や、東京ベイ浦安シティマラソンの開催に協力しています。最近では、障がいを持った子どもたちを対象としたスポーツ教室を年4回実施しています。また、いろいろなスポーツを経験して、何か自分に合うスポーツを見つけてほしいという思いから、スポーツ体験会も始めました。



障がい児・者スポーツ教室を始めた理由は？

福元 これからは、障がいがあるなしにかかわらず誰もが共に楽しむインクルーシブスポーツの時代です。まだまだ試行錯誤の段階ですが、多

くの人と接する機会を作りたいと思っています。

松木 障がいを持った子どもたちの居場所作りにつながればと思います。子どもたちにいろいろな体験をさせてあげたいと思っています。

どんなときにやりがいを感じますか？

福元 協会としてはやはり競技力の向上も大切にしているので、子どもたちが県民体育大会などで活躍すると、やったなと思います。

松木 教室に参加している保護者や子どもたちから意欲的な言葉が聞けると、やってよかったなと思います。

今後の取り組みは？

福元 スポーツ体験会と障がい児・者スポーツ教室の2つを軌道に乗せたいと考えています。スポーツは「する・みる・支える」とあると思いますが、最近どちらかという、「みる」に傾斜しているように思います。それぞれの競技人口が減って



いることに危機感を覚えています。スポーツを通じて地域や社会に貢献できるような人になってほしいです。

松木 競技にもこだわり、福祉にも貢献していきたいと思います。地域に溶け込んでいけるかということも大事にしたいと考えています。



スポーツを通して何を感じてもらいたいですか？

福元 スポーツはいろいろなことを教えてくれますが、自分と違う子がいるんだということに目覚め、助け合っているいろんなことを共有してほしいと思っています。



取り組み

青少年スポーツ推進事業

浦安市スポーツ協会では、子どもたちに様々なスポーツにふれあう機会を設けるために、スポーツイベントの開催に取り組んでいます。令和2年2月には、東小学校で「楽しいラグビー体験会」を開催しました。小学生約40名が、ラグビーの体験を行い、ラグビーに親しみ、楽しむ姿が見られました。



ラインアウト体験



ラグビーボールでストラックアウトに挑戦

障がい児・者スポーツ教室

平成30年度から障がい児・者を対象としたスポーツイベントに取り組んでいます。サッカー、卓球、ラグビー、陸上の教室を開催し、毎回親子でそれぞれのスポーツを楽しんでいます。



卓球教室の様子

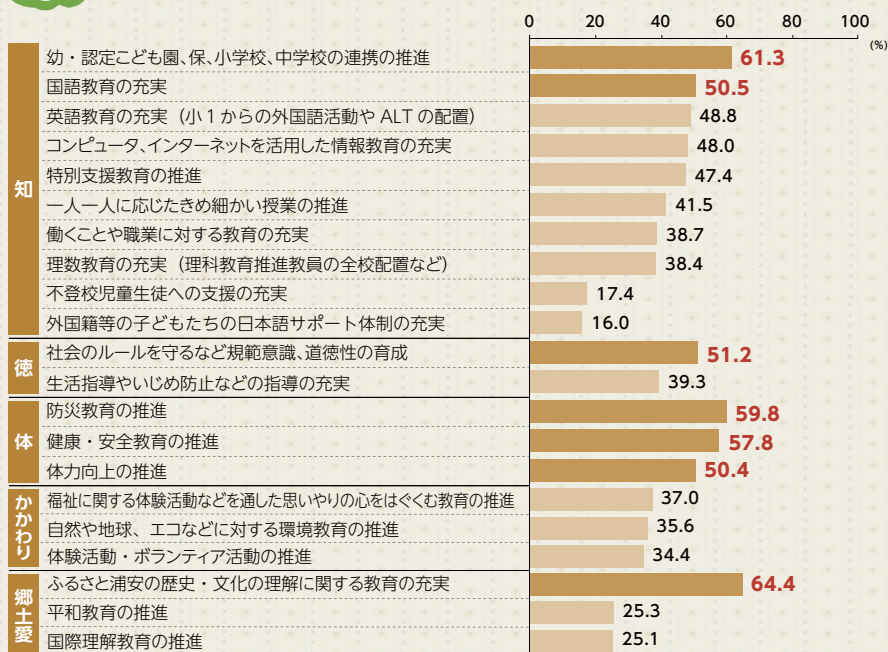


サッカー教室の様子

調査から見える 浦安っ子

浦安市教育振興基本計画を策定するにあたり、市民2000人を対象とした「浦安市教育に関するアンケート調査」を平成30年度に行いました。教育に対する市民の考えや、浦安市の子どもたちに期待することが次の通り見えてきました。

Q. 浦安市の子どもの教育環境において、次のような取り組みができていると思いますか



※「できている」「だいたいできている」と回答した人の割合

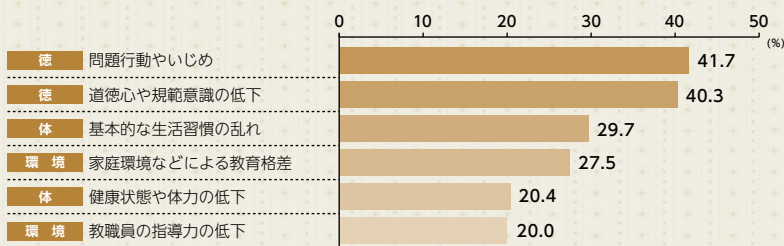
平成27年度から平成31年度までの5年間を見通した「浦安市教育ビジョン」後期基本計画の目指す5つの子ども像に沿って調査結果を整理すると、「園・保・小・中の連携の推進」、「ふるさと浦安の歴史・文化の理解に関する教育の充実」などについて評価が高くなっています。

「不登校児童生徒への支援の充実」「外国籍等の子どもたちの日本語サポート体制の充実」「平和教育、国際理解教育の推進」などについては評価が低くなっています。

「一人一人に応じたきめ細かい授業の推進」についても満足度が約40%と半数以下となっています。

Q. 子どもたちや教育について、課題と感じていることは何ですか

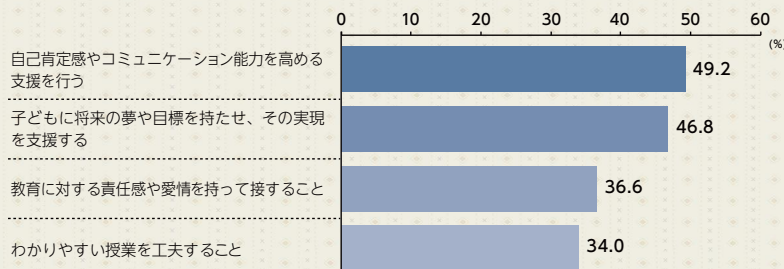
「子どもたちの問題行動やいじめ・不登校」の割合が41.7%と最も高く、次いで「子どもたちの道徳心や規範意識などの低下」の割合が40.3%、「子どもたちの基本的な生活習慣の乱れ」の割合が29.7%となっています。



※割合の高かったもの6項目

Q. 小・中学校での様々な取り組みについて、今後さらに望むとしたら、どのようなことを望みますか

「自己肯定感やコミュニケーション能力を高めるような支援を行うこと」の割合が49.2%と最も高く、次いで「子どもに将来の夢や目標を持たせ、その実現を支援すること」の割合が46.8%、「教育に対する責任感や愛情を持って接すること」の割合が36.6%となっています。



※割合の高かったもの4項目

子どもたち一人一人が主体的に学ぶ中で、自分の長所に気づき、自己肯定感を高め、互いの個性を尊重し、多様性を認め合う教育が必要となります。そして、子どもたちが、自己を見つめ、なりたい自分、生き方を見つけていけるよう、学校、家庭、地域、行政が連携・協力を図ることが重要となります。

いよいよ開催！ オリンピック・パラリンピック

2020年は、オリンピック・パラリンピックイヤーです。
各小・中学校でもオリンピック・パラリンピックに向けて様々な取り組みが行われています。

スポーツ用義足を体験して学ぼう (見明川小学校)

陸上の短距離で、東京パラリンピック出場を目指す山下千絵選手を招き、話を聞いたり質問したりしました。実際に義足をつけて、歩く体験をした児童は、「転びそうになるので難しかった」と話していました。



山下選手に支えられながら義足をつけて歩く体験をする

車いすバスケットボール交流・競技体験会 (北部小学校)

車いすバスケットボールの英国代表選手同士によるプレーを見学した後、グループごとに車いすバスケットボールの体験をしました。「車いすを動かすだけすごい。急にストップするのがすごいと思った」という声が聞かれました。



選手からのパスを受け、シュートに挑戦する

舞浜小学校に かもめ学級が仲間入り！！

今年度より、舞浜小学校に特別支援学級「かもめ学級」が開設されます。市内17小学校のうち13番目の開設となります。



名前は、舞浜小学校の校章の真ん中に描かれている「元気なかもめ」から名付けられました。

特別な教育的支援を必要とする子どもが、より身近な場所で、適切な指導や支援が受けられるように、今後も特別支援学級の設置を進めていきます。



文部科学大臣優秀教職員表彰

浦安中学校の長橋英樹先生、堀江中学校の小澤知也先生が文部科学大臣優秀教職員として表彰されました。おめでとうございます！



左から長橋先生、鈴木教育長、小澤先生

ひとりで
悩まないで！

相談窓口のご案内

子どものこと、学校のこと、進路のこと
お気軽にご相談ください ※祝日は休み

相談名	相談内容	対象	相談日と期間	相談場所と電話番号
子育て	子育てに関する相談	0歳～就学前児とその保護者	月～金曜日 9:00～16:00	①子育て相談室(集合事務所3階) ☎306-3715 ②子育て相談窓口(市役所2階) ※面談のみ
就学相談	特別な教育的支援が必要な子どもの就学相談 園・学校生活、通級指導教室の利用に関する相談	園児・小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	教育研究センター まなびサポート (富岡小学校内) ☎381-7961
学校生活	学習、進路、問題行動など学校生活に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	指導課(市役所7階) ☎712-6775
教育相談	不登校や子どもの友人関係、性格・行動等に関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 10:00～17:00	いちよう学級 猫実 ☎351-1151 入船 ☎711-2336
いじめ110番	いじめに関する相談	小・中学生とその保護者	月～金曜日 9:00～17:00	電話相談 *メール相談可 相談専用 ☎0120-211-380
青少年	問題行動、家庭生活など青少年に関する相談	20歳未満の青少年	月～金曜日 10:00～正午・13:00～16:00	青少年センター(市役所7階) 相談専用 *メール相談可 ☎351-1152
生涯学習相談	学びたいこと、習いたいことなどの相談	一般	月～金曜日 9:00～17:00	生涯学習課(市役所7階) ☎712-6792

小・中学校には、スクールライフカウンセラーが全校配置されており、直接、子ども・保護者からの相談(友達関係、学業、セクハラ、いじめ、不登校及び登校しぶりなど)に応じえています。

教育情報誌



発行/浦安市教育委員会 浦安市猫実1-1-1 TEL:047-712-6732 企画・編集/教育政策課

豊かに生きる浦安っ子の育成のためには、わたしたち大人(学校・家庭・地域・行政)が手を携え、社会全体で子どもたちの豊かな学びやかかわりを支えていくことが大切です。教育情報誌「うらやすスタイル」は、子育て・教育について、みんなで考え実践していくために、学校教育をはじめ、生涯学習の取組、地域と子どものかかわりなどの教育情報を発信していきます。